株式会社 ねんっ 継ぐ、育てる、つなぐ

町も出資する民間主体のまちづくり会社として「株式会社ぷ」が令和8年1月にスタートしました。
未広ストアーの事業承継、スナックローゼの再生、ワインぶどうの栽培、商品開発、イベント、町外から訪れる人の受け入れなど、活動の幅は少しずつ広がっています。
めざしているのは、町にある商いや場所、農産物、人とのつながりを次へと引き継ぎ、新しい仕事や交流を生み出していくことです。「日本一、継ぎたくなる町へ」を掲げ、さまざまな取り組みを進めています。

「ぷ」ってどんな会社

株式会社ぷは、地域に残したい商いや場所を「引き継ぐ」だけでなく、そこに新しい使い方や価値を加え、次につないでいくまちづくり会社です。

店舗、農業、食、観光、イベント、移住などを一つ一つ別の事業として考えるのではなく、それぞれをつなげることで、町内外の人が訓子府を訪れ、地域の人と出会い、食べる、買う、滞在するきっかけを増やしていきます。

「日本一、継ぎたくなる町へ」を掲げ、訓子府にあるものを生かしながら、新しい挑戦を続けています。

継ぐ

暮らしを支える仕事を次へ【末広ストアーを承継】



末広ストアーの事業を4月から引き継ぎました。

店舗での商品販売だけでなく、町学校給食センターや町認定こども園などへの食材納品、クリーニングの取り次ぎなど、地域の暮らしを支えてきた仕事も受け継いでいます。

現在は冷蔵、冷凍設備の故障により店舗営業を休止していますが、給食などへの納品業務は継続しています。

店舗については、以前と同じ形に戻すだけでなく、「これからの訓子府にどのような店が必要か」という視点から、来年度に向けたリニューアルを検討しています。



泊まれるスナックへ【スナックローゼを再生】

8月には、長年地域に親しまれてきた「スナックローゼ」の土地と建物を取得し、改修を進めています。

1階は再びスナックとして営業し、2階の住居部分にはゲストハウス機能を設ける予定です。

町民がふらっと立ち寄れる場所でありながら、町外から訪れた人が泊まり、地域の人と自然に交流できる場所へ。「飲む」と「泊まる」をつなぐ新たな拠点として、営業開始に向けた準備を進めています。

育てる

農業を「食べる・楽しむ」につなげる



町内日出にある中山ファームでは、今年5月にワイン用ぶどうの苗木200本を追加し、現在は約300本を育てています。また、新たにハスカップ100本も定植しました。

農産物を育てるだけでなく、商品や食、体験へとつなげ、訓子府の農業を町内外の人に楽しんでもらうことをめざしています。

食の分野では、石井食品株式会社、JAきたみらいと連携した「訓子府ハンバーグ」の商品化も進めています。訓子府の食の魅力を町外へ伝える新たな商品として展開していく予定です。

つなぐ



▲第3回くんねっぷ牧場ミニマラソン

「訓子府に行ってみたい」をつくる

9月6日に開催した「第3回くんねっぷ牧場ミニマラソン」は103人が参加しました。関東や京都からの参加もあり、訓子府を知り、実際に訪れてもらうきっかけとなりました。

また、「北海道移住ドラフト会議」や地域おこし協力隊インターン、お試し地域おこし協力隊などを通じて、町外からさまざまな人を受け入れています。

一度の来町で終わるのではなく、「また来たい」「町の仕事に関わりたい」「暮らしてみたい」と思ってもらえる関係へつなげていくことをめざしています。

10月30日には東京で訓子府のPRイベントを予定しています。町の食や人の魅力を伝え、次の来町につながるきっかけをつくっていきます。

まだ、始まったばかりです

店を継ぐ。農産物を育てる。商品をつくる。イベントで人を呼ぶ。町に泊まってもらう。そして、地域の人とつなぐ。

それぞれの取り組みをつなげながら、町の中に新しい仕事や交流、にぎわいが生まれる流れをつくっていくことが「ぷ」の挑戦です。

まだ試行錯誤の途中ですが、訓子府にあるものを生かしながら、一つ一つ形にしていきます。今後の営業情報やイベントなどは、株式会社ぷのインスタグラムでも発信していきます。



数字で見る株式会社ぷ

- ○**設立日** 令和8年1月7日
- ○**出資額** 1,407万円
- ○**株主数** 68人
- ○**主な活動** 末広ストアーの事業承継、スナックローゼの再生、農業・商品開発、イベント、関係人口づくりなど

※「株式会社ぷ」の詳細やインスタグラムは、下記QRからご覧ください。

▲ホームページ ▲インスタグラム

■**問合せ** 株式会社ぷ（☎070-9177-2110 メールアドレス staff@knpu.jp）
経済振興室振興係（☎33-5008 役場2階 窓口13番）